

あなたも自分のまち、みんなのまちを守るため、
消防団活動に参加してみませんか？



鬼北町消防団長 吉川 壽雄

団員はそれぞれに生業を持っており、その職種は自営業やサラリーマンとさまざまですが、「我が町は我が手で守る」という気概を持って消防団活動を行っています。

また、団員は、火事で夜中に飛び出したり、災害で何日も家に帰れないときもあります。消防団の活動は家族の協力なしでは成り立ちません。そのことも忘れてはいけないと思います。



災害防ぎよ活動などに従事し、地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。

平常時には定期的に訓練を行うことで、消防・防災に関する知識や技術を習得するほか、女性消防団員が主となり、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、火災予防広報、応急手当の普及活動など、女性の優しさや細かな配慮を活かして実施し、地域における消防力・防災力の向上に重要な役割を担っています。

鬼北町では、女性消防団員の多くが、「応急手当普及員」の資格を取得し、消防署員とともに各学校等で心肺蘇生法等の指導を行い、応急手当の普及に努めています。

消防団の課題

地域の安全を確保するためには、地域ぐるみの消防防災体制の確立が必要です。消防団や自主防災組織は地域住民により組織され、地域社会における消防防災体制の中核として重要な役割を果たしています。

実際、鬼北町には常備消防機関として消防署がありますが、消火活動はもとより、特に多数の動員

を要する大規模災害や林野火災における活動、地域住民に対する防火・防災意識の啓発活動などについては、消防団は不可欠な存在です。

しかし、一方で消防団員数の減少や高齢化等の問題が生じてきており、組織の充実強化は緊急かつ最大の課題となっています。

鬼北町では、この課題に対処するため、様々な施策を推進していますが、最も大切なのは地域に暮らす皆さんの消防団活動に対する理解と協力であり、一人ひとりが**地域の安全に対して関心を持つこと**です。

